

新生児～乳児期初期の便色異常は要注意!

川口市立医療センター

はらだ あつし
小児外科 原田 篤



新生児期～乳児期初期の淡黄色、灰白色便には注意が必要です。この時期の便色異常は胆道閉鎖症という病気の可能性があり、早期診断を付けて治療を行う必要があります。胆道閉鎖症の場合、70～80%は生後4週間以内に便色が黄色から淡黄色に変化しますが、最初は黄色でも生後3カ月頃になってから徐々に色が薄くなっていくお子さんもいます。

胆道閉鎖症は胆汁の通り道である肝外胆管が何らかの原因で閉塞してしまう病気です。原因は発生異常説、ウイルス感染説、免疫異常説など諸説ありますが、まだはっきりとわかっていません。治療をしないと病状は進行し不可逆性(もとに戻らない)の肝機能障害を引き起こし、死に至ってしまいます。また、ビタミンKの吸収障害により脳出血を起こしてしまい後遺症を残してしまうお子さんもいます。このような病状の進行を防ぐため、可能な限り早期に診断を付け肝臓と腸を縫って胆汁の流れを促す手術を行う必要があります。

手術によって自分の肝臓で長期生存できる可能性が開けますが、いまだに自分の肝臓で生き続けられる患者さんは全国平均で5割程度にとどまっています。発見が遅くなり病状が進行してからの手術となってしまうケースがある事も原因の一つと考えられます。早期発見をするためには、母子手帳にある便色カードをよく確認していただき、便色異常、便色の変化に気が付いた時は速やかにお近くの病院か当院への受診をお願いいたします。

家庭内で起こる事故から子どもを守ろう

日常生活の中で、子どもの行動にヒヤッとしたことはありませんか? 子どもの周りではさまざまな事故が起っています。特に、乳幼児の死亡原因の上位には「不慮の事故」が挙げられます。子どもの特性や予防に関する正しい知識を持ち、子どもを事故から守りましょう。



起こりやすい事故とその予防

<誤飲・誤嚥>

- 子どもの口でも500円硬貨程度の大きさのものは入ってしまいます。口に入る危険のあるものは子どもの手の届くところに置かないようにしましょう。
- 赤ちゃんは飲んだものを吐きだしやすいという特徴があります。ゲップをさせ、胃が落ち着いてから寝かせる、あるいは顔を横向きに寝かせ、吐いたものがのどや気管に詰まらないようにしましょう。



<転落>

- 子どもがベビーベッドにいるときは必ず柵を上げておきましょう。
- 近年、子どもがベランダから転落したというニュースが多く報道されています。窓の鍵は子どもが簡単に開けられないよう工夫し、ベランダには踏み台になりそうなものを置かないようにしましょう。
- 歩行が始まった子どものいる家庭では浴槽への転落にも注意が必要です。普段から浴槽の水を抜いておくようにしましょう。また浴室の入り口に鍵をかけるなど、子どもが1人で入らないような対策をしましょう。

<転倒>

- 歩き始めの頃は歩行が不安定なため、転んでテーブルなどにぶつかり、けがをする事故が目立ちます。事故予防グッズなどを利用し、家具の角や硬い床をカバーしましょう。
- 歯ブラシやスプーンなどを口にくわえた状態で転倒すると、重いけがにつながる危険があります。口に入れたまま遊ばせないようにしましょう。



問地域保健センター ☎048-256-2022 FAX048-256-2023

イベントスケジュール

9日(火)～3/7日(日)

2月

旧田中家住宅の桃の節供
雛人形の展示公開

場 旧田中家住宅

→21ページ

3日(水)～7日(日)

3月

GI 開設69周年記念グランプリレース

場 川口オートレース場

7日(日)

川口市多文化ふれあいフェスタ

場 キュポ・ラ広場

→29ページ

新型コロナウイルス感染症対策のため、変更や中止をする場合があります。

川口商工会議所飲食店応援プロジェクト!!

「飲食店応援プロジェクトかわぐち」のホームページでは、「デリバリー」や「テイクアウト」に対応している市内の店舗を紹介しています。プロの味をご自宅で、ぜひお楽しみください。

問 川口商工会議所

☎048-228-2220



ひと

日常に喜怒哀楽の彩りを

シンガーソングライター 小林 拓真さん
こばやし たくま

「いつも日常に音楽があり、辛い時や悲しい時、何度も音楽に救われてきました」。そして今度は自分もたくさんの人へ歌を届けたいと、30歳で脱サラ。メジャーデビューを目指し活動している。

川口駅前でのストリートライブやSNSでの配信など地道な活動を重ね、2019年3月に市内のライブハウスで念願のワンマンライブを開催すると、なんと会場は超満員に。「地元のかただけでなく、わざわざ飛行機や新幹線などを利用してお越しいただいたかたも多くいたんです。本

当に感謝と感激の気持ちしかありませんでした」。その時の景色は今も鮮明に脳裏に焼き付いている。

しかし2020年に入ると、コロナ禍でライブなど活動の場は突然奪われた。それでも今だからこそ出来ることはあるはず」と逆境をプラスに捉え行動することに。

気に入っている市内の飲食店などに、自らのポスターを貼り出してもらい、SNSで「#おいでよ川口」とハッシュタグをつけてその店の魅力を発信した。すると「ファン皆さんのなかでお店の評判が広がり、お店に来たかたには広く自分のことを知ってもらったことができた」。想像以上の相乗効果があったようだ。

「コロナ禍での活動が徐々に実を結ぶ中、自らの楽曲「無名のランナー」を応援歌とし

て採用した、サッカーのクラブチーム「アヴェントゥーラ川口」が、リーグ入りの足がかりとなる関東2部リーグへの昇格を決めた。「ジャンルは違えど、川口を起点により高いステージへ飛躍したいとの想いは一緒でした。自らの楽曲に誇りを持つと同時に新たなステージへ進むチームから大きな刺激を受けた。

「夢は川口PR大使となり、大好きな川口の魅力を発信すること。歌手活動と地域貢献を両立させていきたいです」と語る。夢を夢で終わらせない。その持ち前の行動力と発信力で川口に、そして日本中に、その名が、その歌が、響きわたる日を楽しみにしたい。(孝)

